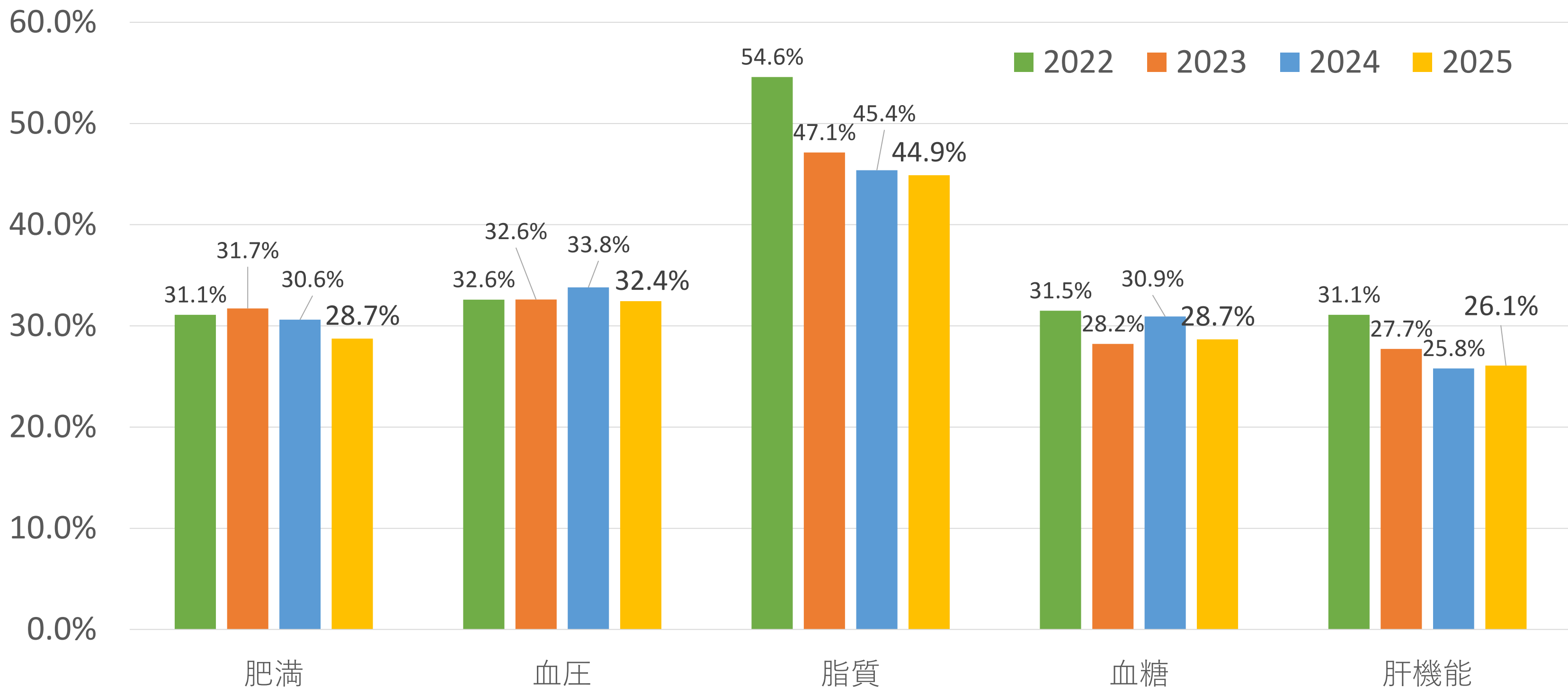


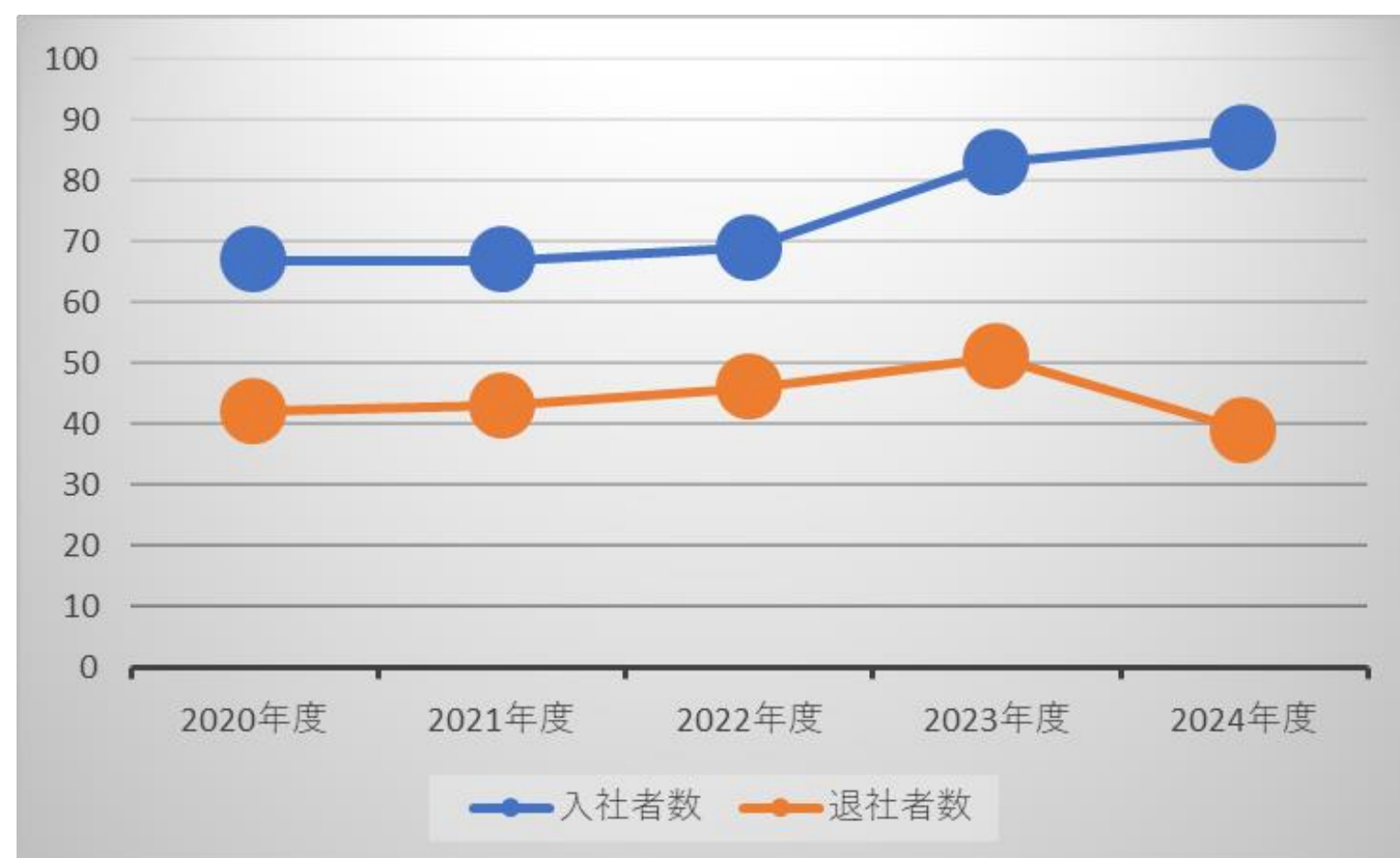
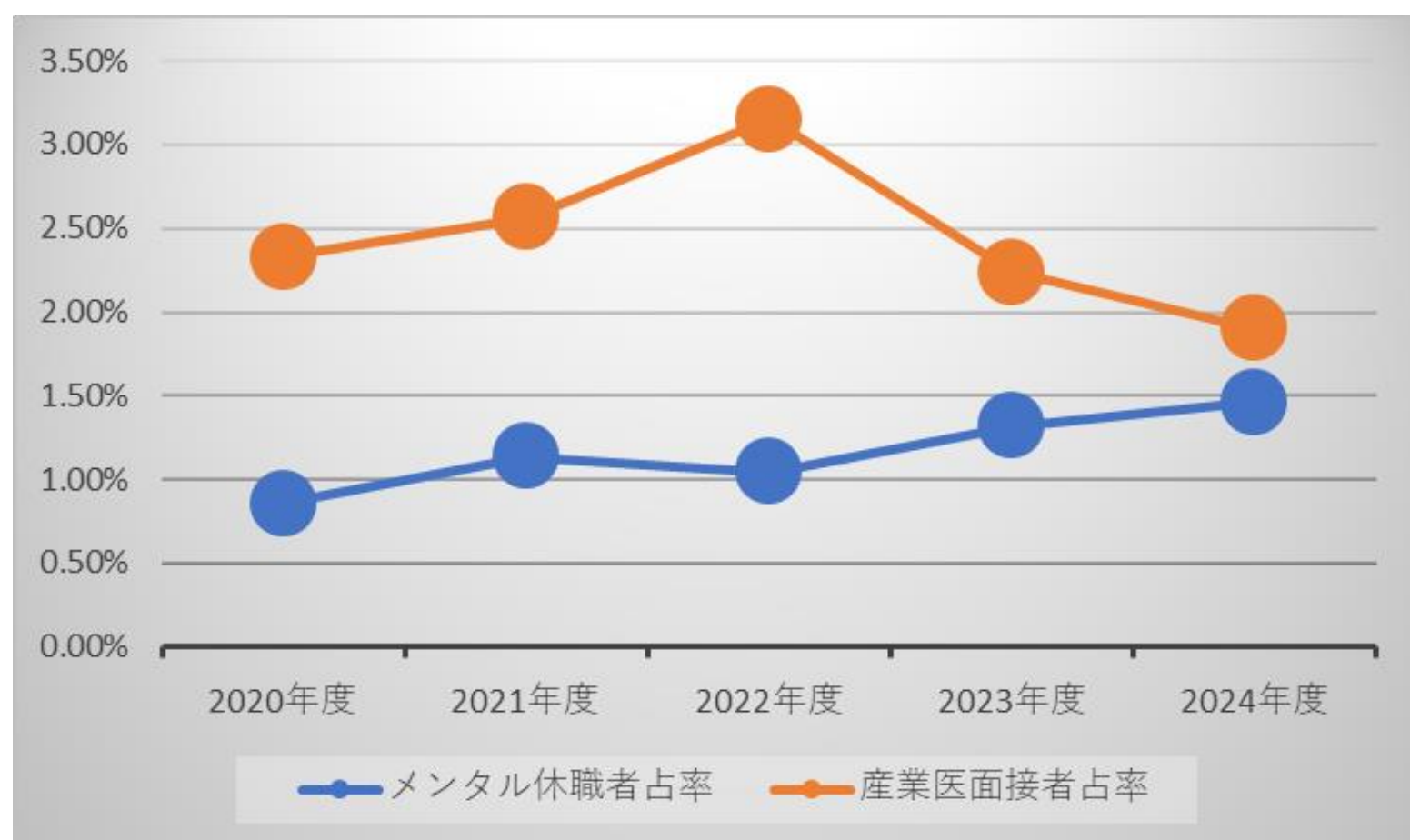
# 生活習慣病に関する健康診断結果（要改善者占率）



- 要改善者占率の全ての指標が前年度マイナスになることが改善目標です。
- 2025年度は、多くの指標で健康経営の取組み効果があったと認識されますが、微増となった「肝機能」、健保連データとの比較で高め水準となっている「血圧」「血糖」は、引き続き、当社の健康課題と認識されます。
- 原因として考えられることは、生活習慣の問診結果において、朝食の欠食、就寝前の食事習慣について改善がみられていないことが影響している可能性が挙げられます。
- 以上を踏まえて、引き続き、総合的な生活習慣病対策を推進します。特に、健康増進に資する食事のとり方等、食生活習慣の重要性に関する情報提供を強化・実行してまいります。

## メンタル休職者・産業医面接対象者・入退社者の推移、労働安全衛生の指標

（従業員100%を対象に休職・面接対象を判定しています）



参考 プレゼンティーズム値	2023年度 81.3%	2024年度 78.8%	2025年度 上期81.7% 下期83.1%
---------------	--------------	--------------	------------------------

※ 全従業員を対象とした意識調査アンケートに「東大1項目版」の設問を入れ、その回答結果をもとに測定。値はアンケートに回答した従業員の平均です。  
 ※ 「東大1項目版」は、病気や怪我がなかった場合の仕事の出来を100%として、過去4週間の自身の仕事の出来をパーセンテージで回答してもらうことで、仕事のパフォーマンス低下度合い（プレゼンティーズム）を測るものです。

2023年度	労働災害 2件	死亡災害 0件	度数率 0	強度率 0
2024年度	労働災害 3件	死亡災害 0件	度数率 0	強度率 0

※ 2023年度の労災2件は、オフィス内において、①カーペットにつまずいて転倒、②物を持ち上げたタイミングでドアノブにぶつかって受傷  
 2024年度の労災3件は、オフィス内や研修施設において、①機の引き出しに引っ掛かって転倒、②階段で足を踏み外して転倒、③液晶モニター設置中に受傷  
 いずれも重大リスク事案ではないと評価されますが、産業保健スタッフ等による職場巡視を強化して、再発防止・注意喚起に努めています。  
 ※ なお、当社では、労災リスク、労災発生状況に鑑み、労働安全衛生マネジメントシステムは導入していません。